

PAT-NO: JP406004310A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 06004310 A

TITLE: SYSTEM FOR SWITCHING PLURAL  
OPERATING SYSTEM

PUBN-DATE: January 14, 1994

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

SUGAWARA, MASAKAZU

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

NEC SOFTWARE LTD

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP04165660

APPL-DATE: June 24, 1992

INT-CL (IPC): G06F009/46

ABSTRACT:

PURPOSE: To improve workability and operability at the time of switching operating systems(OS).

CONSTITUTION: When the start of an OS switching program is requested from an input display device 4 to a system 1 (OS 1,) the OS switching program is operated by an OS switching program executing mechanism 3-1 of a basic processor 3. Next, an OS switching control mechanism 3-2 automatically switches the OS to the OS of an individual area 5-3 (OS 2) corresponding to the switching request of the OS switching program and starts operations in the

system 2.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-4310

(43)公開日 平成6年(1994)1月14日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

G 0 6 F 9/46

識別記号

3 4 0 A 8120-5B

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号 特願平4-165660

(22)出願日 平成4年(1992)6月24日

(71)出願人 000232092

日本電気ソフトウェア株式会社

東京都港区高輪2丁目17番11号

(72)発明者 菅原 政和

東京都港区高輪二丁目17番11号日本電気ソ

フトウェア株式会社内

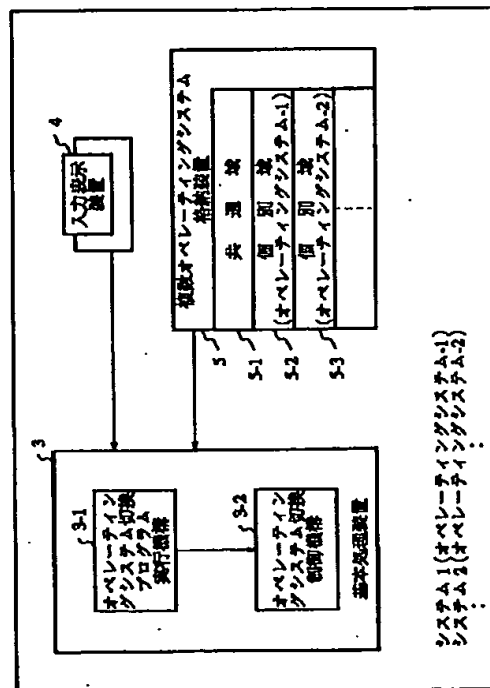
(74)代理人 弁理士 京本 直樹 (外2名)

(54)【発明の名称】 複数オペレーティングシステム切換え方式

(57)【要約】

【目的】オペレーティングシステム切換え時の運用性、操作性を向上させる。

【構成】システム1(オペレーティングシステム1)において、入力表示装置4からオペレーティングシステム切換えプログラムの起動要求を行うと、基本処理装置3のオペレーティングシステム切換えプログラム実行機構3-1によりオペレーティングシステム切換えプログラムが動作する。次に、オペレーティングシステム切換えプログラムの切換え要求により、オペレーティングシステム切換え制御機構3-2は、個別域(オペレーティングシステム2)5-3のオペレーティングシステムに自動的に切換え、システム2での運用を開始させる。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】複数オペレーティングシステム切換え方式において、入力表示装置と、複数のオペレーティングシステムを格納する複数オペレーティングシステム格納手段と、前記入力表示装置からのオペレーティングシステム切換え要求を受けて前記複数オペレーティングシステム格納手段における指定された前記オペレーティングシステムの動作環境の基でシステムを動作させるオペレーティングシステム切換え制御手段を備えたことを特徴とする複数オペレーティングシステム切換え方式。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明はオペレーティングシステムの切換え方式に関し、特にプログラム起動による複数オペレーティングシステムの切換え方式に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、同一の基本処理装置および入力表示装置上で、現在動作しているオペレーティングシステムとは異なる他のオペレーティングシステムを動作させるためには、システムの電源を切断後、再度電源を投入し、オペレーティングシステムの選択を行う必要があった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上述した従来の方式では、他のオペレーティングシステムに切換えるために一旦システムの電源を切断して再度投入する操作を行わなければならない、運用性、操作性が悪いという問題があった。

【0004】

【課題を解決するための手段】第1の発明は、複数オペレーティングシステム切換え方式において、入力表示装置と、複数のオペレーティングシステムを格納する複数オペレーティングシステム格納手段と、前記入力表示装置からのオペレーティングシステム切換え要求を受けて前記複数オペレーティングシステム格納手段における指定された前記オペレーティングシステムの動作環境の基でシステムを動作させるオペレーティングシステム切換え制御手段を備えたことを特徴とする。

【0005】

【実施例】次に、本発明の実施例制御手段を備えたことを特徴とする図1は本発明の一実施例を示すブロック図である。

【0006】本実施例は、図1に示すように、基本処理装置3、入力表示装置4、複数オペレーティングシステム格納装置5から構成される。

2

【0007】基本処理装置3は、オペレーティングシステム切換えプログラム実行機構3-1、オペレーティングシステム切換え制御機構3-2から構成され、複数オペレーティングシステム格納装置5は、共通域5-1、個別域（オペレーティングシステム1）5-2、個別域（オペレーティングシステム2）5-3から構成される。

【0008】今、複数オペレーティングシステム格納装置5内の共通域5-1で、個別域（オペレーティングシステム1）5-2、個別域（オペレーティングシステム2）5-3等の複数個別域の情報を管理し、個別域（オペレーティングシステム1）5-2の動作環境により、基本処理装置3、入力表示装置4がシステム1として動作し、個別域（オペレーティングシステム2）5-3の動作環境により、基本処理装置3、入力表示装置4がシステム2として動作するものとする。

【0009】システム1（オペレーティングシステム1）において、入力表示装置4からオペレーティングシステム切換えプログラムの起動要求を行うと、基本処理装置3のオペレーティングシステム切換えプログラム実行機構3-1によりオペレーティングシステム切換えプログラムが動作する。

【0010】次に、オペレーティングシステム切換えプログラムが切換え要求を行うと、オペレーティングシステム切換え制御機構3-2により、個別域（オペレーティングシステム2）5-3のオペレーティングシステムに自動的に切換え、システム2での運用が開始される。

【0011】

【発明の効果】以上説明したように、本発明は、オペレーティングシステム切換え制御手段を備えたことにより、他のオペレーティングシステムに切換えるためにシステムの電源を切断して再度投入する操作が不要になり、運用性、操作性が向上する効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示すブロック図である。

【符号の説明】

3 基本処理装置

3-1 オペレーティングシステム切換えプログラム実行機構

3-2 オペレーティングシステム切換え制御機構

4 入力表示装置

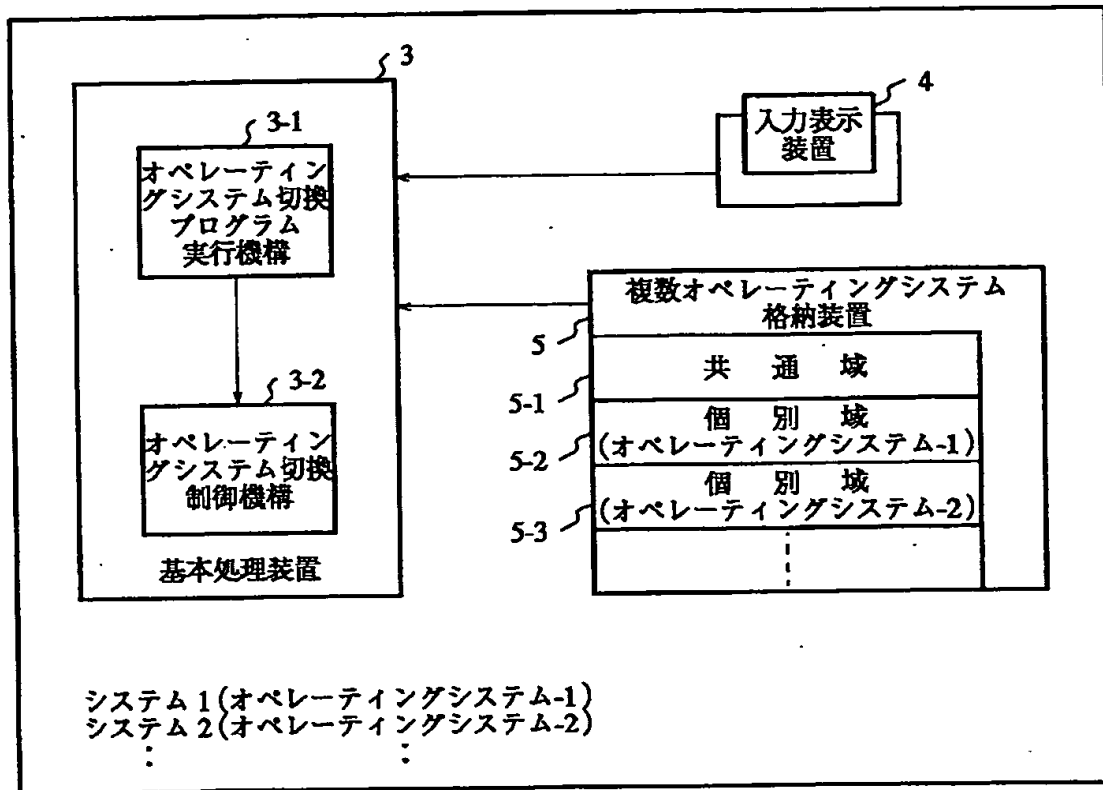
5 複数オペレーティングシステム格納装置

5-1 共通域

5-2 個別域（オペレーティングシステム1）

5-3 個別域（オペレーティングシステム2）

【図1】



## Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 62231339  
PUBLICATION DATE : 09-10-87

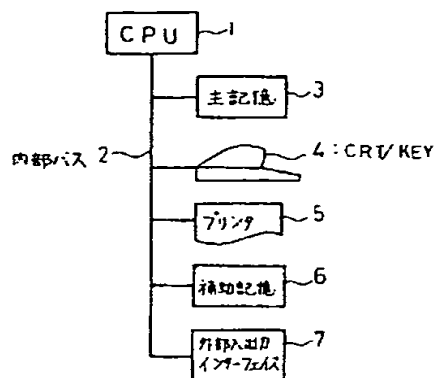
APPLICATION DATE : 31-03-86  
APPLICATION NUMBER : 61073034

APPLICANT : FUJI ELECTRIC CO LTD;

INVENTOR : UCHIYAMA SUMIO;

INT.CL. : G06F 9/46

TITLE : PARALLEL ACTION METHOD FOR TWO OPERATING SYSTEMS



ABSTRACT : PURPOSE: To simultaneously execute plant control and office work processing by treating an operating system for office work processing as one task of an operating system for plant control.

CONSTITUTION: An operating system OS for plant control is resident at a main memory 3 as a resident application task. On the other hand, an OS for office work processing is loaded from an auxiliary memory 6 to a main memory 3 in accordance with the necessity as a non-resident application. By making lower the execution priority sequence of the OS for office work processing than a task for plant control, the influence to the program for plant control can be suppressed to the minimum limit. Thus, the plant control and the office work processing can be simultaneously executed.

COPYRIGHT: (C)1987,JPO&Japio